

沖縄本島北部テーマパーク開業に伴う地域の渋滞対策に関する取組

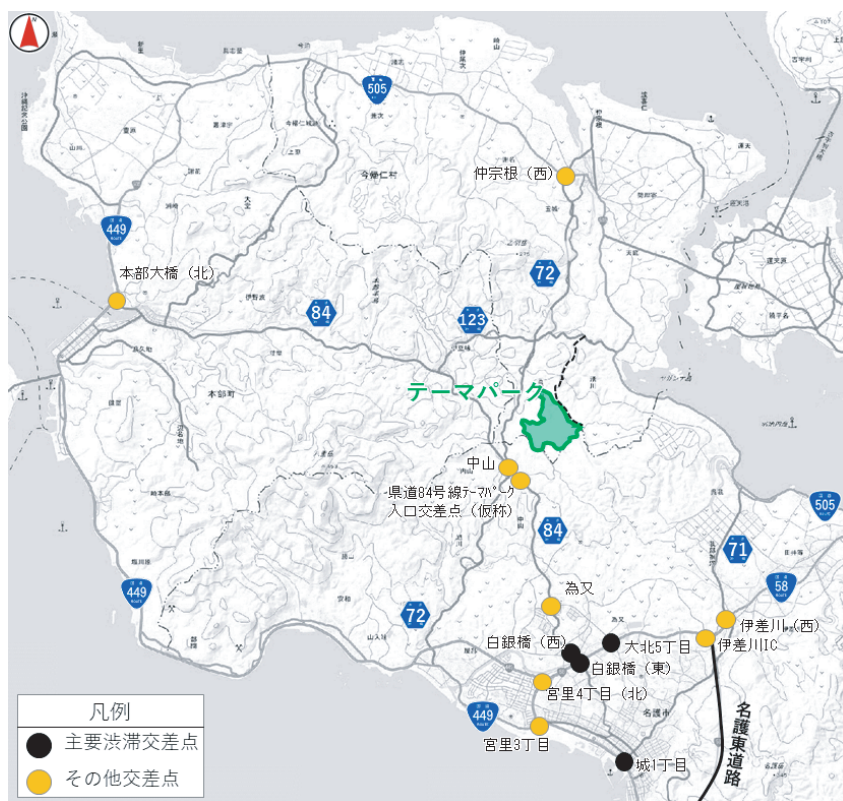
内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所

1. はじめに

内閣府沖縄総合事務局北部国道事務所は、沖縄本島北部において、恩納村以北の国道58号および、うるま市以北の国道329号の2路線を管理している。

本取組は、沖縄本島北部において令和7年7月25日に大型テーマパークが開業し、やんばるの自然を生かした新たな観光拠点として期待される一方、アクセスが国道58号および県道84号線等の限られた幹線道路に依存していることから、観光交通と日常交通の重複により周辺道路の渋滞発生が懸念されたことを背景とする。

この課題に対応するため、沖縄地方渋滞対策推進協議会北部地域交通円滑化WG（以下、「WG」という。）では、国・県・市町村・沖縄県警・西日本高速道路株式会社沖縄高速道路事務所に加え、テーマパーク事業者（以下、「民間事業者」という。）が参画し、官民連携による渋滞対策を実施した。本稿では、その取組内容について報告する。



▲テーマパーク位置図

2. 協働体制と各主体の渋滞対策（実施事例）

WGでは、民間事業者が掲げる「開業対策4本柱」（①バス・フェリー利用促進、②駐車場の分散配置とスマート化、③アクセスルート分散、④周辺道路・交差点改良）に対応させて、国・県・市町村・警察が担う対策を整理した。対策は、ハード整備（車線・信号・区画線・除草）、ソフト施策（案内・周知・予約等）、運用（工事抑制・営業時間調整等）を組み合わせ、開業後の渋滞対策を実施した。

< WG で実施した主な渋滞対策内容（ハード・ソフト） >

（交差点改良）国道58号 伊差川IC交差点で右折車線追加・加速車線延伸、左折車線延伸等を実施。（R6.3）、県道84号線のテーマパークの周辺の交差点に右折帯を設置し、県警と連携して信号機を設置・運用開始した。

また、県道84号線の主要渋滞箇所である白銀橋（西）交差点の右折帯延長、おゆずりエリアの設置を実施し、県警と連携して信号機の移設を実施した。

（案内標識）テーマパークへのアクセスルートの案内標識を整備し、開業日直前（7/25）に表示切替を行うことで分散経路の選択を促した。

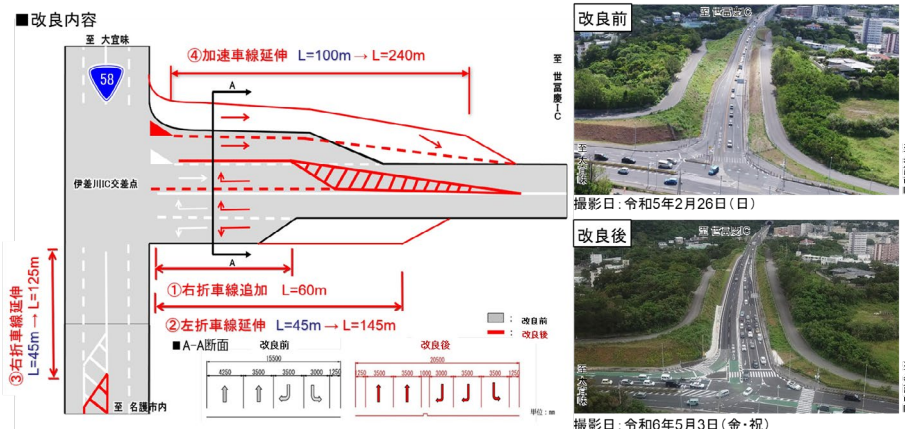
（維持管理）市道及び村道の区画線（中央線）を整備（R7.7）し、樹木剪定・除草を実施した。これにより大型車のすれ違いの安全性と走行性を確保した。

（路上工事の抑制）開業直後の交通量増加を見込み、夏休み期間中の路上工事の抑制（7/25～8/31）を実施した。

（満空情報）国道58号（道の駅許田の情報提供コーナー）、沖縄自動車道（サービスエリア）、国・県・市町村HP等で、テーマパーク駐車場の満空情報等を7/25から提供する仕組みを整備した。民間事業者が提供する満空情報をデジタルサイネージ等でリンク表示することで、現地到着前の判断材料を提供した。

（周知）WGで発行している道路情報誌「アシナビ」特別号を7/5に発行し、道の駅、海洋博公園、那覇空港カウンター、レンタカー店舗等（37箇所）に配布することで観光客への周知を図った。

（リアルタイム情報提供）観光シーズンに、道の駅許田に道路情報板LEDを設置し、テーマパークまでの所要時間のリアルタイム情報提供、許田IC～テーマパーク周辺の速度状況の提供（5分間隔更新、24時間）を行い、ドライバーが柔軟に経路選択できる環境を整えた。



▲国道58号 伊差川IC交差点改良



▲デジタルサイネージにおける情報提供
(左：道の駅許田、右：伊芸 SA)

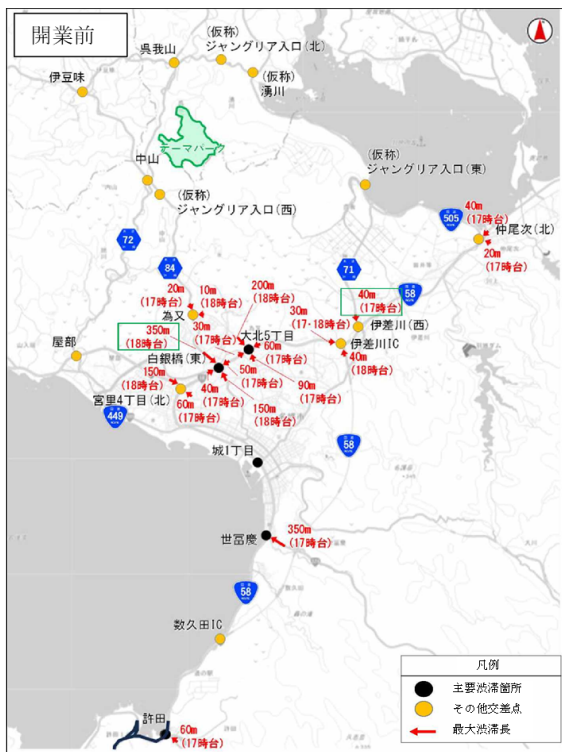


▲所要時間のリアルタイム情報

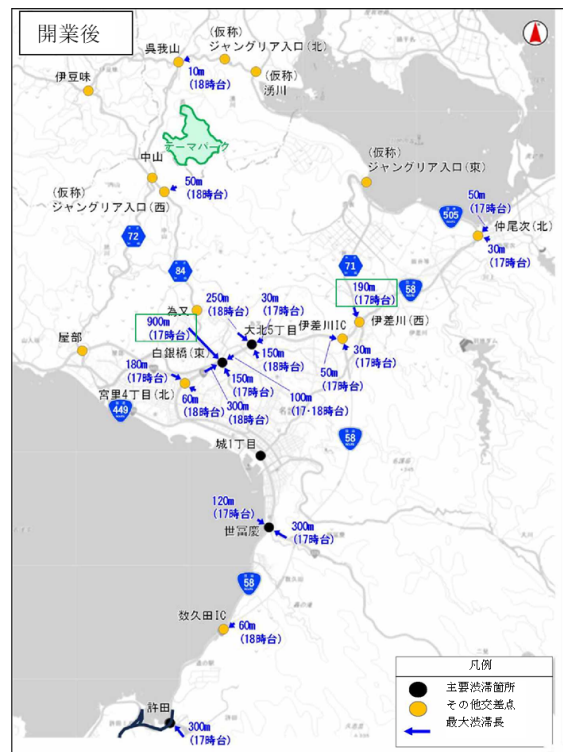
3. テーマパーク開業前後の交通状況比較

開業前後に交通量調査を実施し、交通影響の分析を行った。

開業前（6/25）と開業日（7/25）の12時間調査を比較した結果、白銀橋（東）交差点および伊差川（西）交差点では、開業日夕ピーク時に於いて渋滞長の延伸が確認され、観光交通の影響が認められた。一方で、これらの箇所を除けば、交通状況に顕著な変動は見られず、全体としては平常時と大きく変わらない状況であった。白銀橋（東）交差点および伊差川（西）交差点は主要渋滞箇所であることから、観光交通の集中が局所的な渋滞長延伸の一因となったと考えられる。



※調査日は、令和7年6月25日。
ただし、「中山」、「(仮称)ジャングリア入口(西)」については、(仮称)ジャングリア入口(西)交差点における右折帯設置工事が行われていない令和7年6月22日の調査結果。



※調査日は、令和7年7月25日。

4. おわりに

本事例では、大型テーマパーク施設の開業に合わせて民間事業者の運用（公共交通・駐車場）と、行政・警察のインフラ整備／交通管理を「同じ時間軸」で実装した官民連携の渋滞対策の取り組みを紹介した。

今回の取り組みにより、官民連携のWGは、開業日に向けた対策の同時実装により混雑リスクの低減に寄与したと考える。

今回の取り組みが、今後の類似事例の参考となれば幸いである。